

◎水道業務包括民間委託調査結果

■水道業務包括民間委託調査委員会事務局（本庁財政課内線 321）

市は、水道業務包括民間委託の業者選定に至る経緯などを調査するため
4月22日に同調査委員会を設置し、調査を進めてきました。
その調査結果をお知らせします。

調査委員会の調査のポイント

市は、水道業務包括民間委託の業者選定に至る過程を含め、手続きの中の問題点の有無を確認するため、4月22日に同調査委員会を設置しました。調査のポイントは次の6つで、書類の確認と職員から聞き取りを行いました。

①水道業務の民間委託を検討してきた経緯 ②業者選定を公募型プロポーザルとした理由 ③審議会などへの諮問④プロポーザル審査の基準と評価点設定（配点） ⑤プロポーザル審査委員会での議論の内容 ⑥三役への説明などの経緯

報告書の概要

調査の結果、業者選定の進め方の手続きに問題が無かったこと、審査得点表に改ざんが無かったことを確認しました。委託業者の選定には、公募型プロポーザルによる提案方式が導入され、提案内容の的確性・確実性が見積金額よりも優先されました。これは「市民に安定的に確実なサービスを提供できること」が最も重要と考えた結果でした。

今後の対応

今回の業者選定が市議会でも取り上げられ、市民の皆さまにも疑問を抱かせてしまった原因は、市の説明不足にあり、丁寧に細部まで説明する必要がありました。今後はこの反省を生かすとともに、プロポーザル方式と競争入札の導入区分、地元企業の育成や地域貢献要素の加味などについて、明確な基準を定め、業者選定をより透明性の高いものとするよう検討していきます。この調査報告書は市ホームページの行政情報に掲載していますのでご覧ください。

◎公用車の車検切れ運行のお詫び

6月8日、市が車検切れの公用車を運行していたことが分かりました。
皆さまの信頼を損なう行為について心よりお詫びします。

■本庁総務部

総務部が管理する公用車の車検の有効期限がことし5月8日で満了したことに気付かず、車検切れのまま車両を運行していたことが6月8日発覚しました。市は公用車の継続検査を受ける事務を怠り、無車検の公用車を運行していたとして、6月17日に関係職員を処分しました。
平成20年度にも同様の事案があり、奥州市になってから2回目の無車検車両の運行でした。1回目の教訓が良い方

向に生かされませんでした。市民の皆さまの信頼を損なう行為について心よりお詫びします。今後は、車両担当課から公用車を管理する各課に確認を促し、過ちを繰り返さないよう二重の管理体制を整えます。また、職員一人一人が公務員としての自覚を持ち、適切に業務を行っていきます。

公募型プロポーザル方式とは

公募型プロポーザル方式は、市があらかじめ選定基準や上限額を明示して公募し、業者が提案した業務内容などを審査・採点して選定する方式です。価格だけで競争する競争入札に比べ費用の縮減は期待できませんが、プレゼンテーションやヒアリングにより提案内容や業務に対する考え方を、詳細に比較・評価することができます。

■収納業務の委託を採点した得点表

評価項目		配点	第一環境	セントラル設備機器	共同企業体（※）
会社概要	会社概要	10	10.00	10.00	10.00
	財務状況	10	10.00	10.00	10.00
	受託実績	10	10.00	4.00	8.00
	業務体制・業務執行計画	20	18.00	12.00	10.44
	地域貢献（地元経済・地元雇用）	20	14.22	18.00	16.00
	窓口受付業務	20	17.11	14.44	14.44
委託業務	収納業務・滞納整理業務	30	24.33	18.22	19.11
	入金整理、口座振替、コンビニ収納	10	8.00	7.44	6.56
	検針・再調査業務	20	17.78	15.56	14.33
	水道メーター管理	5	4.11	4.11	3.56
	水道メーター取替業務	5	4.22	4.33	3.89
	調定および更正資料作成・報告業務	15	12.44	9.78	10.17
研修体制	開栓閉栓業務	10	8.00	7.56	7.22
	精算業務	5	4.33	3.56	3.56
	電子計算処理業務	30	25.22	19.11	21.44
	研修体制	10	8.22	7.44	6.89
提案金額	個人情報保護	10	8.67	6.89	5.11
	防災・災害・緊急時対策危機管理	10	7.44	6.89	6.44
	その他の業務提案	10	8.00	8.00	7.56
提案見積金額・積算内訳書		40	17.20	17.60	25.20
評価点数の合計		300	237.31	204.93	209.92

（※） フジ地中情報㈱北東北支店、市水道工事業協同組合、テクノマインド㈱による共同企業体

市の出来事から

はなちゃん、サッカーのW杯で日本代表をエスコート

南アフリカで6月11日に開幕したサッカーワールドカップで、胆沢第一小学校4年生の松戸はなちゃん（9）が日本選手の手を引いて入場するエスコートキッズを務めました。これは、



中澤選手をエスコートして入場



応援旗にはメッセージがびっしり



お友達と記念写真

エスコートキッズを主催するマクドナルドの企画に応募し実現したもので、応募のあった9938人から選ばれました。応募のきっかけは、たまたま行った店舗で応募用紙を見つけたこと。サッカーへの思いを綴り、歎を添えた写真に「オラ、アフリカさ行くだ」とコメントを添えて応募しました。後日、当選を伝えるにドナルドが家に来たときは、本当に驚いたそうです。はなちゃんは幼稚園のころから英治さんとボール遊びをしており、昨年からヴェルディ花巻のサッカースクールに通っています。

学校の友達から寄せ書きされた応援旗や法被などをかばんに詰め込み、16日に飛行機で20時間をかけて南アフリカへ出発。飛行機から見た虹色の朝焼けがとても印象的だったそうです。そしていよいよ19日、決勝トーナメント出場のかかった日本対オランダ戦。はなちゃんはエスコートキッズとして中澤佑二選手の大きな手を握り、ドキドキしながら入場しました。とても緊張して中澤選手に話しかけることはできませんでしたが、コートに立ったとき「いつか自分も女子サッカー日本代表『なでしこジャパン』の一員として試合のコートに立ちたい」と感じたとそうです。



黒滝温泉のガス化発電施設

市は7月2日、黒滝温泉で木質バイオマスガス化コジェネ

黒滝温泉にガス化発電施設完成

レーション施設の火入式を行いました。この施設は木質チップと、廃食油を燃やして、温泉に電気と熱を送るものです。間伐材や廃食油などのバイオマス資源で電気や灯油の一部を代替して、二酸化炭素の排出を削減することができま



完成した前沢町史(教育編)

このほど、前沢町史編纂委員会（岩淵清委員長）が編纂を進めてきた「前沢町史(教育編)」が完成しました。町史は昭和63年までに、上・中・下（一）・（二）の全4巻を発刊。平成15年度から教育編の編集が再開され、資料収集に時間がかかりましたが、この度完成しました。

教育編は全8章で構成され、「江戸後期」「明治」「大正」「昭和」「平成」まで5つの時代に分けて教育をまとめています。寺子屋から始まる前沢の教育の源流と変遷が整理され、昔の学校の校章や校旗、校歌なども掲載されています。

購入希望者は、教育委員会前沢支所まで申し込みください。

前沢町史「教育編」が完成